

# 平成28年6月 全国百貨店売上高概況

平成28年7月20日

## I. 概況

1. 売上高総額	4,699億円余
2. 前年同月比	-3.5% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	81社 236店 (平成28年5月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,969,483㎡ (前年同月比:-1.6%)
5. 総従業員数	76,233人 (前年同月比:-2.7%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	11-1月 -1.4%、12-2月 -0.5%、1-3月 -1.6%、 2-4月 -2.2%、3-5月 -3.9%、4-6月 -4.1%

[参考] 平成27年6月の売上高増減率は0.4% (店舗数調整後)

### 【特徴】

6月の売上高は3.5%減で4か月連続のマイナスに終わったが、前月に比べ1.6ポイント(-5.1%/前月)の改善を見せている。地区別では全18地区のうち九州を除いた17地区で前年に届かず。10都市計と10都市以外計は共に3.5%減となっており、規模別売上でも全ての店舗規模で前年割れに終わった。

訪日外国人(シェア2.8%)は、購買行動や品目の変化から、購買単価(-30.2%)が下落傾向にあり、売上高は20.4%減(約130億円)と3か月連続前年割れしたが、購買客数は14%増(約23万人)と4.1か月連続前年を確保している。また、長く減速傾向にある中間層をはじめとして国内購買客(シェア97.2%)の不調は継続しており急回復が厳しい状況にある。

商品別では、富裕層の消費マインド低下を受けた美術・宝飾・貴金属(-9.2%)の失速を受け、雑貨が15か月ぶりのマイナス。主要5品目全てが前年を割った(20か月ぶり/2014年10月以来)ものの、中元購買客の買い回りが好調な、衣料品、身のまわり品、家庭用品、食料品が前月に比べマイナス幅を縮小している。細分類では化粧品が7.6%増で15か月連続プラスを記録。

地区別、規模別など全ての状況が厳しい中、次シーズンに向け①明確な市場戦略の徹底、②顧客戦略見直し、③集客手段の再検証、④販売チャネル磨き直しなどが急務となっている。

### 【要因】

(1) 天候：気象庁発表「6月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇月後半は、梅雨前線が本州付近に停滞し特に西日本で活動が活発化、月降水量は西日本太平洋側でかなり多く、19日から大雨で九州の広い範囲及び中国・四国地方各地で土砂災害や浸水害等が発生した。また、北日本も降水量が多かった一方、東日本では5月から少雨が続きところもあり、取水制限がとられる河川もあった。

(2) 営業日数増減 29.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 8日( " ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数137店舗)

①増加した：22店、②変化なし：37店、③減少した：78店

(5) 6月歳時記(中元、父の日)の売上(同上/有効回答数103店舗)

①増加した：8店、②変化なし：52店、③減少した：43店

# 全国百貨店 売上高速報 2016年06月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ( )が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>全 国</b>	<b>469,996,164</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.5 ( -3.7)</b>
<b>10都市</b>	<b>319,224,361</b>	<b>67.9</b>	<b>-3.5</b>
札幌	11,408,357	2.4	-1.8
仙台	6,434,768	1.4	-2.2
東京	130,170,443	27.7	-3.2
横浜	29,532,332	6.3	-2.9
名古屋	29,326,746	6.2	-2.8
京都	18,348,608	3.9	-4.4
大阪	57,350,420	12.2	-5.7
神戸	12,018,550	2.6	-3.8
広島	10,034,228	2.1	-1.0
福岡	14,599,909	3.1	-2.5
<b>10都市以外の地区</b>	<b>150,771,803</b>	<b>32.1</b>	<b>-3.5 ( -4.0)</b>
北海道	2,391,462	0.5	-1.6
東北	7,312,513	1.6	-6.1 ( -6.7)
関東	70,020,735	14.9	-4.4 ( -5.5)
中部	11,081,966	2.4	-3.9
近畿	20,126,837	4.3	-2.8
中国	10,790,132	2.3	-4.5
四国	7,445,622	1.6	-4.9
九州	21,602,536	4.6	1.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
<b>総 額</b>	<b>469,996,164</b>	<b>100.0</b>	<b>-3.5 ( -3.7)</b>
紳士服・洋品	30,449,697	6.5	-6.5 ( -6.7)
婦人服・洋品	88,429,305	18.8	-5.5 ( -5.6)
子供服・洋品	8,129,970	1.7	-4.0 ( -4.2)
その他衣料品	10,684,480	2.3	-6.3 ( -6.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>137,693,452</b>	<b>29.3</b>	<b>-5.7 ( -5.9)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>58,795,822</b>	<b>12.5</b>	<b>-5.7 ( -5.8)</b>
化粧品	34,649,818	7.4	7.6 ( 7.5)
美術・宝飾・貴金属	28,827,952	6.1	-9.2 ( -9.2)
その他雑貨	17,426,251	3.7	-3.0 ( -3.5)
<b>雑 貨</b>	<b>80,904,021</b>	<b>17.2</b>	<b>-1.2 ( -1.4)</b>
家具	5,418,827	1.2	-3.0 ( -3.1)
家電	1,362,918	0.3	-23.7 ( -23.7)
その他家庭用品	14,767,816	3.1	-8.3 ( -8.5)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>21,549,561</b>	<b>4.6</b>	<b>-8.2 ( -8.4)</b>
生 鮮 食 品	29,249,431	6.2	-3.2 ( -3.4)
菓 子	35,642,135	7.6	0.4 ( 0.2)
惣 菜	28,998,454	6.2	0.0 ( -0.1)
その他食料品	49,240,825	10.5	-0.3 ( -0.6)
<b>食 料 品</b>	<b>143,130,845</b>	<b>30.5</b>	<b>-0.7 ( -0.9)</b>
食 堂 喫 茶	12,913,770	2.7	-5.8 ( -6.2)
サ ー ビ ス	4,898,026	1.0	-8.2 ( -8.6)
そ の 他	10,110,667	2.2	-1.0 ( -1.0)
<b>商 品 券</b>	<b>17,603,272</b>	<b>3.7</b>	<b>-6.8 ( -6.9)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

## Ⅱ. 地区別の動き

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | - 3.5% (4か月連続マイナス)        |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 3.5% (店舗数調整後/8か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>- 3.5</b>	<b>- 2.4</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
札幌	- 1.8	0.0	5か月連続マイナス
仙台	- 2.2	0.0	4か月連続マイナス
東京	- 3.2	- 0.9	4か月連続マイナス
横浜	- 2.9	- 0.2	6か月連続マイナス
名古屋	- 2.8	- 0.2	6か月連続マイナス
京都	- 4.4	- 0.2	3か月連続マイナス
大阪	- 5.7	- 0.7	6か月連続マイナス
神戸	- 3.8	- 0.1	4か月連続マイナス
広島	- 1.0	0.0	8か月連続マイナス
福岡	- 2.5	- 0.1	4か月連続マイナス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>- 3.5</b>	<b>- 1.1</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
北海道	- 1.6	0.0	14か月連続マイナス*
東北	- 6.1	- 0.1	8か月連続マイナス*
関東	- 4.4	- 0.7	13か月連続マイナス
中部	- 3.9	- 0.1	4か月連続マイナス
近畿	- 2.8	- 0.1	8か月連続マイナス
中国	- 4.5	- 0.1	6か月連続マイナス*
四国	- 4.9	- 0.1	4か月連続マイナス
九州	1.2	0.1	4か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、20か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目は化粧品が15か月連続、菓子と惣菜が3か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-3.5</b>	<b>—</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-6.5	-0.4	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.5	-1.0	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.0	-0.1	2か月連続マイナス
その他衣料品	-6.3	-0.1	8か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-5.7</b>	<b>-1.7</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-5.7</b>	<b>-0.7</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
化粧品	7.6	0.5	15か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-9.2	-0.6	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.0	-0.1	6か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-1.2</b>	<b>-0.2</b>	<b>15か月ぶりマイナス</b>
家具	-3.0	0.0	4か月連続マイナス
家電	-23.7	-0.1	3か月連続マイナス
その他家庭用品	-8.3	-0.3	3か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-8.2</b>	<b>-0.4</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-3.2	-0.2	27か月連続マイナス*
菓子	0.4	0.0	3か月ぶりプラス*
惣菜	+0.0	0.0	3か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.3	0.0	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-0.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-5.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-8.2</b>	<b>-0.1</b>	<b>12か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.0</b>	<b>5か月ぶりマイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-6.8</b>	<b>-0.3</b>	<b>64か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>